

標語で人権を考えよう

福岡県では、7月を同和問題啓発強調月間と定めて、あらゆる差別をなくすための様々な取り組みを行っています。

桂川町でも、これに先立ち、桂川中学校と桂川小・東小学校の6年生の約450人を対象に、人権・同和問題の啓発標語の作品募集を行いました。

最終選考会が6月7日に隣保館で行われ、平成19年度の代表作品15点が選ばれました。これらの代表作品は、この広報紙などを通して、紹介していきます。



たくさんの力作に選考するのも大変です

「誰にもほっとする居場所のある学校や社会」。そんな心豊かな桂川町をつくっていきける生徒たちを育てたいと思いながら、小学6年生と中学生に標語づくりを呼びかけました。大勢の生徒たちがそれに応じてくれて、とても素敵な作品が集まったと思います。

そして、これからの桂川町のために、若者たちの気持ちを伝え広げていくことも、私たち大人の大切な役目だと感じています。生徒たちの純真な思いが、大人たちの心に響くこともあるでしょう。標語を見ながら、これがその一つのきっかけになればと、願っています。

審査を終えて



桂川中学校
安藤 能之 先生